

授業科目名	衣食住の理解(2100119)		
時間割名	衣食住の理解(12102)		
時間割担当	西江なお子		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・2		

授業の目標・概要

小学校の家庭科指導に当たって、家庭科で教えるべき内容について理解し、そのうえで教材開発を行う。先行授業分析を行うとともに適切な指導方法のもとに内容を生かす実践能力を身につける。具体的内容としては、家族など身近な人間関係におけるコミュニケーション、食育を踏まえた家事技術、衣や住などの環境に配慮した製作などである。指導要領を踏まえながら家庭科の目指すものと、広さ奥深さの自覚の中で先行授業分析を行う。その後、それぞれの内容について効果的に教えるための指導方法と授業効果を学び、具体的な内容についての教材開発と実践を行う。

学習の到達目標

- ・ 家庭生活を学習対象とする家庭科を指導する上で、家庭生活に関する基本概念や基礎的な知識を理解できる。
- ・ 衣食住生活や消費・環境に関する基本概念を使用して、主体的に生活を創造する意識を高めることができる。
- ・ 家族・家庭生活、食生活、衣生活、住生活にかかわる諸問題を的確に把握し、現状をふまえた家庭の創造、豊かな家庭生活を旨とすることができる。

授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
2. 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

第1回 家族	・ 家族の機能 ・ わが国の家族構成はどのように変遷
第2回 生活時間と家事労働	・ 日本人の生活時間、労働と生活時間など
第3回 家庭経済	・ 家計構造（収入と支出）、消費支出の特徴
第4回 消費者問題	・ 消費者問題の変遷・ 消費者問題を誘発する事柄（悪質商法、カード、多重債務 etc.）
第5回 栄養	・ 栄養と栄養素の違い ・ 栄養素の種類とその働き
第6回 食品	・ 食品群とは何か ・ 食品の特性 ・ 食品添加物の種類や役割
第7回 調理	・ 調理の基本操作 ・ 米の栄養価、みその栄養価 ・ 米飯とみそ汁の調理法
第8回 食生活	・ 食事計画 ・ 食事マナー ・ 今日の食生活上の問題点
第9回 被服の着装と機能	・ 衣服の着用目的 ・ ライフスタイルの変化と衣服の着装との関係
第10回 被服材料と手入れとの関係	・ 繊維の種類とその特徴 ・ 織物と編み物の特徴 ・ 洗剤の働きと汚れが落ちるメカニズム
第11回 被服製作	・ 被服製作用具の種類 ・ 手縫いの基礎
第12回 住居の機能と設計	・ 住居の役割 ・ 生活行為と住空間の構成とのかかわり
第13回 住環境	・ 住環境（熱環境、空気環境、光環境、音環境） ・ 給・排水
第14回 住居の管理	・ 住居の汚れ ・ 住居の手入れ、清掃
第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。	

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。（30％）さらに、学習記録ノート(学生作成)の緻密さなどを評価する。（30％）さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。（40％）

準備学習・復習及び授

次時の学修内容の予告をもとに、教科書に目を通し予備知識を得ておくとともに、適宜ノートにまとめたり関連事項を調べたりして授業に臨む。復習としては提示した課題をレポートや家庭科新聞などにまとめ、指定された日時に提出する。

履修上のアドバイス及

日常生活に欠かせない「衣食住」に関する知識・技能を身につけ、児童の実践力育成が図られるよう、まずは受講者自身が「家庭生活」を自分事として捉え授業に臨みましょう。

教材・教科書

「私たちの家庭科5・6」開隆堂

参考書

必要に応じて授業の中で提示する。